

第6節：雇用環境の変化

問14では、「あなたの会社において、仮に事業内容や労働条件などを大幅に変更することになったとしたら、何を重視するか」を1位から5位までの順序を付けてもらっている。ここで1位に挙げられた数を比較すると、図3-1-56のように「いまの労働条件（賃金・労働時間など）を維持すること」が最も多い53.2%、また「仕事内容が変わっても、いまの会社で働き続けること」が23.1%、そして「いまの勤務地域で働くこと」が12.4%、「他の会社に移っても、いまの仕事内容を維持すること」が9.7%という結果となった。

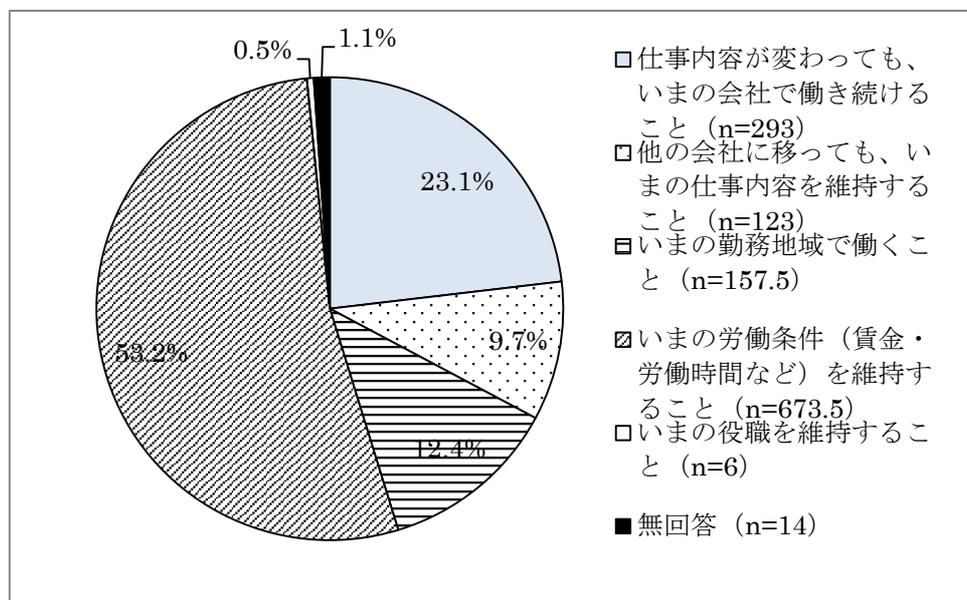


図3-1-56：事業内容・労働条件変更時の優先順位